

人のために動くこと＝自分自身の楽しみに！

とよだ えみこ 豊田 栄美子さん

Agri ロマン鈴鹿 代表

1985年 就農

2003～2013年 三重県農村女性アドバイザー

2003～現在 Agri ロマン鈴鹿 会長

2004～2018年 Agri ロマン三重 会長

2005～2013年 NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう理事

2008～2010年 広瀬町自治会長



🌟 これまでの道のりは？ 🌟

結婚当初の話ですが、ご飯を炊こうとお米を出しに行ったとき、お米を見て「お義母さん、大変です！お米が茶色になっています！」と叫ぶと、お義母さんに「栄美子さん、玄米はこんな色なんです。」と言われてしまいました。玄米を見たことないほど、農業とは無縁な人生を送っていた私は、38歳のときに夫の実家に戻りました。お茶と米作りを義父に教えてもらい、初めて農業に携わりました。

その後、「三重県生活改善実行グループ」（1996年に「Agri ロマン三重」に名称変更、2018年3月解散）に入り、それが今の私の原点になっています。農業は大変なイメージもあるかもしれませんが、私は最初から楽しいことでした。昔は農家の妻は家族の中で控えることが多かったですが、私はそのような経験はなく自由でした。それゆえに、女性の活躍の少ない自治会や女性グループの会長などにも積極的に務めていけたのかもしれません。

🌟 自分らしい働き方は？ 🌟

自分で考えて自分で行動するのが、性に合っていると思っています。色々考えることは楽しいですし、思い浮かぶことを、どんどん実行していくことが私

のやり方です。時々失敗することもあります。会員に助けられ、良い仲間です。人を動かすことは大変ですが、生活改善実行グループで学んだことはありがたいです。

また、人に頼まれたことは、できるだけ断らないように心がけています。

🌟 やりがいはありますか？ 🌟

地域への恩返しとして、仲間と楽しく過ごしたり、さまざまな困りごとなどを共有する場である「いきいきサロン」を立ち上げて8年目になります。地域の方たちの活気につながっているものと思っています。生活改善実行グループにて、地産地消、食育活動に継続して取り組んできました。2004年から解散するまで、14年間三重の会長を務めさせていただきましたが、ここで学んだ様々なことが、今の自分自身の基礎となりました。そして、学んだことを発信していく活動により、人間関係が広がり、思いもふくらんできました。

鈴鹿市の女性農業委員は現在5名おり、そのうちの4名がAgri ロマンのメンバーであることは誇りです。

🌟 これからの目標や夢を教えてください。 🌟

現在、鈴鹿のメンバーは30人いますが、年齢層が

偏っていて、次の世代を育てていくことが課題です。

また、三重の郷土料理は、地域によってたくさんあり、それを伝承していく必要があります。Agri ロマン三重は解散しましたが、今はクックパッドに郷土料理のレシピを掲載する活動を行っています。

また、Agri ロマン鈴鹿は平成18年から続けている、4歳から子どもたちに地産地消と郷土料理を伝える、「キッズ料理教室」も継続していきたい活動です。

🌟 最後に伝えたいことをどうぞ… 🌟

70代になり、先のことを考えるようになりました。思うことは、「自分のためであれ、人のためであれ、悔いがないようやりたいことをやる！」「人が嫌がることはしない。」「悪口を言われるような人間にはならない。」ということが自分の信念であるということです。

そして、結局「やりたいことをしたらいい。」と言われても、自分自身が楽しむことよりも、みんなに楽しんでもらうことが、なによりも自分の楽しみであると感じています。

そういう自分の正直な思いを大切にしてお過ごし、いきいたいと思っています。